

# marginの相殺とは

marginの相殺とは、要素が前後に並び、  
そのそれぞれにmarginが設定されているときに  
おこる現象になります。



少し難しいので、イラストをまじえて解説していきます。



こうならない

要素01  
margin-bottom:50px

要素02  
margin-top:10px



こうならなる

要素01  
margin-bottom:50px

要素02  
margin-top:10px



解説は最後に →

こうならない

親要素



子要素

margin-bottom:50px

margin-bottom:10px

要素

こうならなる

親要素



子要素

margin-bottom:50px

margin-bottom:10px

要素

解説は最後に →

解説

要素01  
margin-bottom:50px

top:10px

bottom:50px

要素02  
margin-top:10px



bottom:50px

値が大きい方の  
数値が適用されます



top:10px

値が小さい方の数値が  
打ち消されます

解説

親要素

子要素

margin-bottom:50px

bottom:50px

要素

値が大きい方の  
数値が適用されます



bottom:50px



bottom:10px

値が小さい方の数値が  
打ち消されます

# margin相殺の対処方法について

marginの相殺とは、要素が前後に並び、

そのそれぞれにmarginが設定されているときに  
おこる現象になります。

少し難しいので、イラストをまじえて解説していきます。



対処法



対処法01

## padding(パディング) による対処法

paddingを指定することにより、  
子要素と隣接しないようにしています。  
marginとの相殺を防ぐ事ができます。

親要素 {  
margin-bottom: 10px;  
padding-bottom: 10px;  
}

対処法

対処法02

## border(ボーダー) による対処法

borderを指定することにより、  
子要素と隣接しないようにしています。  
marginとの相殺を防ぐ事ができます。



親要素 {  
margin-bottom: 10px;  
border: 4px solid #FFFFFF;  
}

相殺が起こらないケース

親の要素にCSSを適用することで、子の相殺が発生しません。

- ✓ padding marginが指定されている方向を指定
- ✓ border borderを指定
- ✓ overflow hidden, scrollは適用され、auto, visibleは適用されません
- ✓ position absolute, fixedは適用され、relative, staticは適用されませんなど

毎回、要素に対して「top、bottom」を指定すると、このように相殺の現象がおこります。  
なるべくmarginを「top、bottom」のどちらか一方につけるようにするのがオススメです。  
例として基本「bottom」しか指定しない!などルールを決めるのもよいかとおもいます。